

第 29 回鴨叡会・生命分子化学科セミナー報告

日時：平成 27 年 12 月 10 日（木）13 時 00 分から

場所：京都府立大学 図書館 3 階視聴覚室

講師：藤田 博美 先生（北海道大学名誉教授・獨協医大特任教授）

タイトル：「瓢箪から駒の物語—多剤耐性菌を予防する」

参加者：学部学生、大学院学生、教員

参加者総数：約 35 名

近年、藤田先生のグループは、センダイウイルス由来ベクターを用いることで、がん化する危険性のない iPS 細胞の新しい樹立法を確立した。本講演では、その樹立までの経緯と、ヒト iPS 細胞から高効率で誘導されたナチュラルキラーT(NKT)細胞の一種の MAIT 細胞の特性と自然免疫機構での役割、さらにはその多剤耐性菌疾患予防への利用可能性について紹介していただいた。講演終了後、院生や教員から種々の質問があり、それに対して藤田先生からさらに詳しい解説をいただき、理解を深めた。

（佐上郁子）